

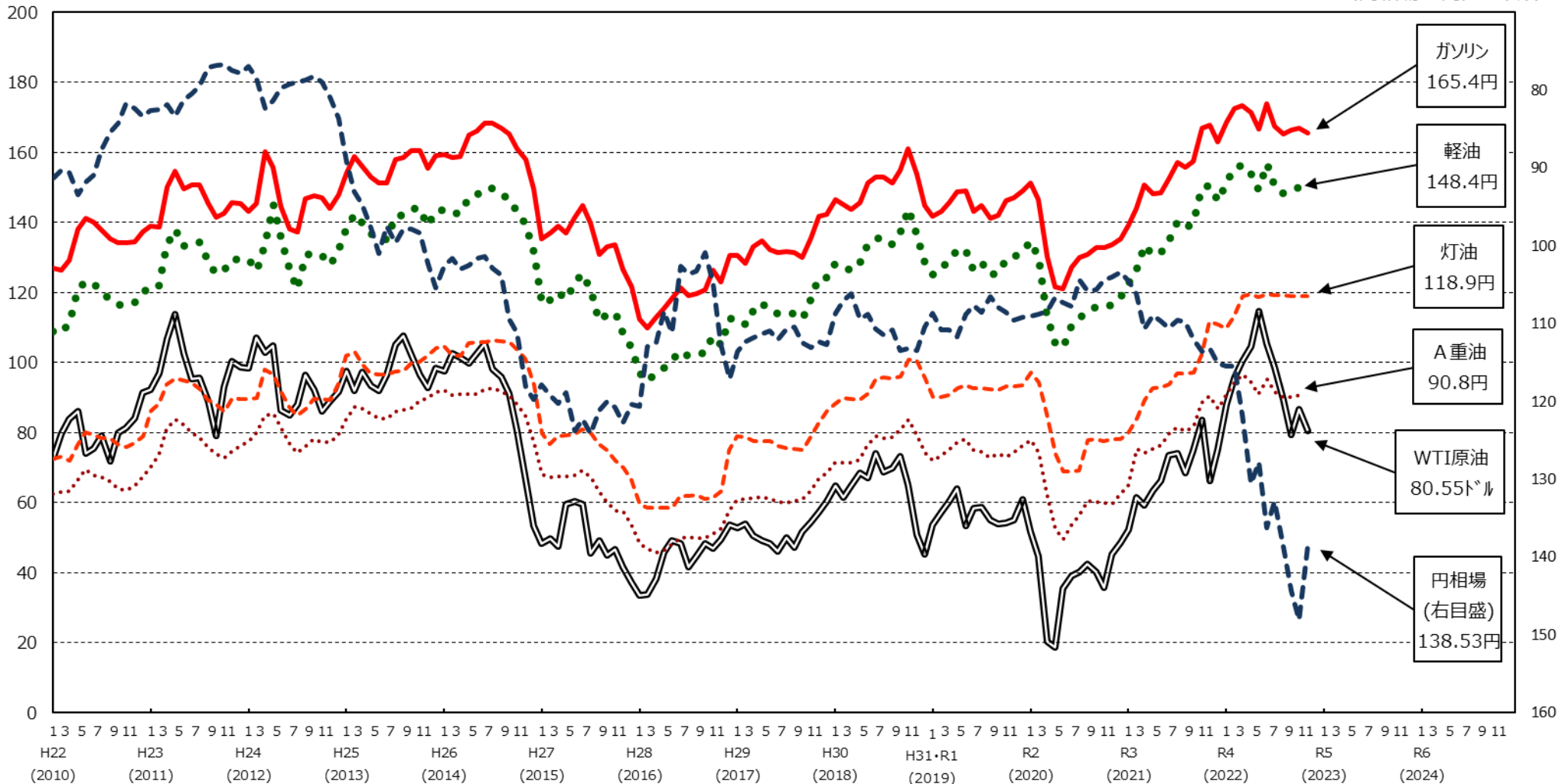
現下の経済状況

原油・石油製品・円相場の価格推移（各月末価格）

令和4年11月30日現在

(原油：1ドル／1バレル、ガソリン・A重油・軽油・灯油：円／1リットル)

(円相場：円／1ドル)

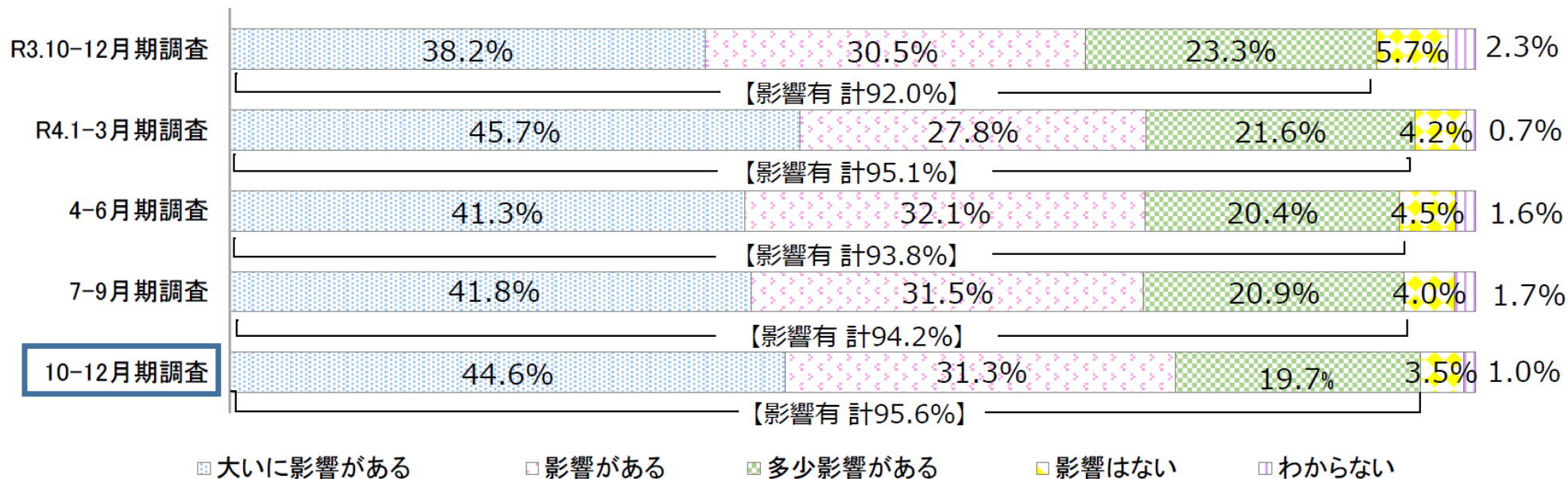


● WTI原油 = ニューヨーク取引所価格・アメリカエネルギー情報局HP ● 円相場 = 日銀統計

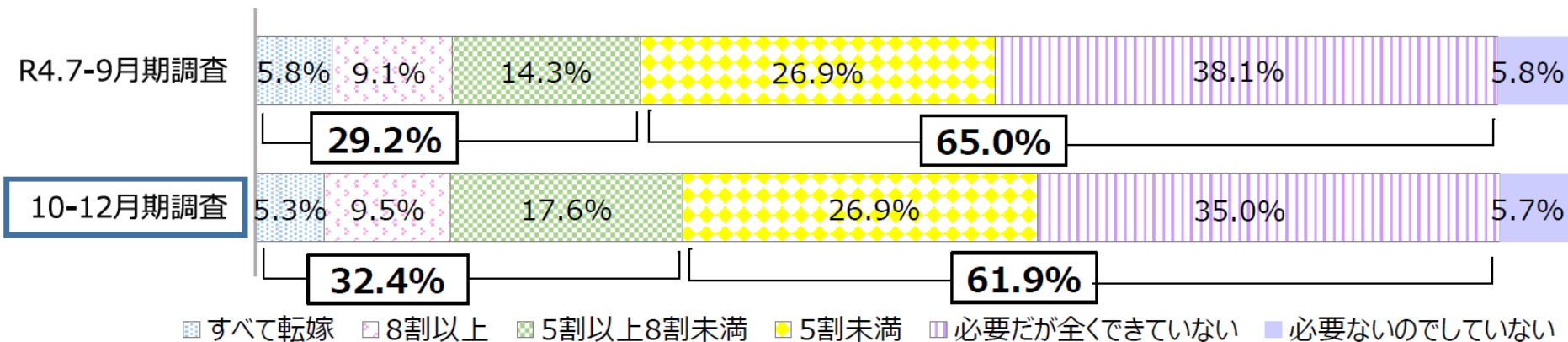
● ガソリン(レギュラー)、軽油、灯油 = 道内SS店頭価格 ● A重油 = 道内大型ローリー(8kl以上) 納入価格 以上資源エネルギー庁調べ

現下の経済状況

【原油・原材料価格高騰の影響（経営への影響）について】

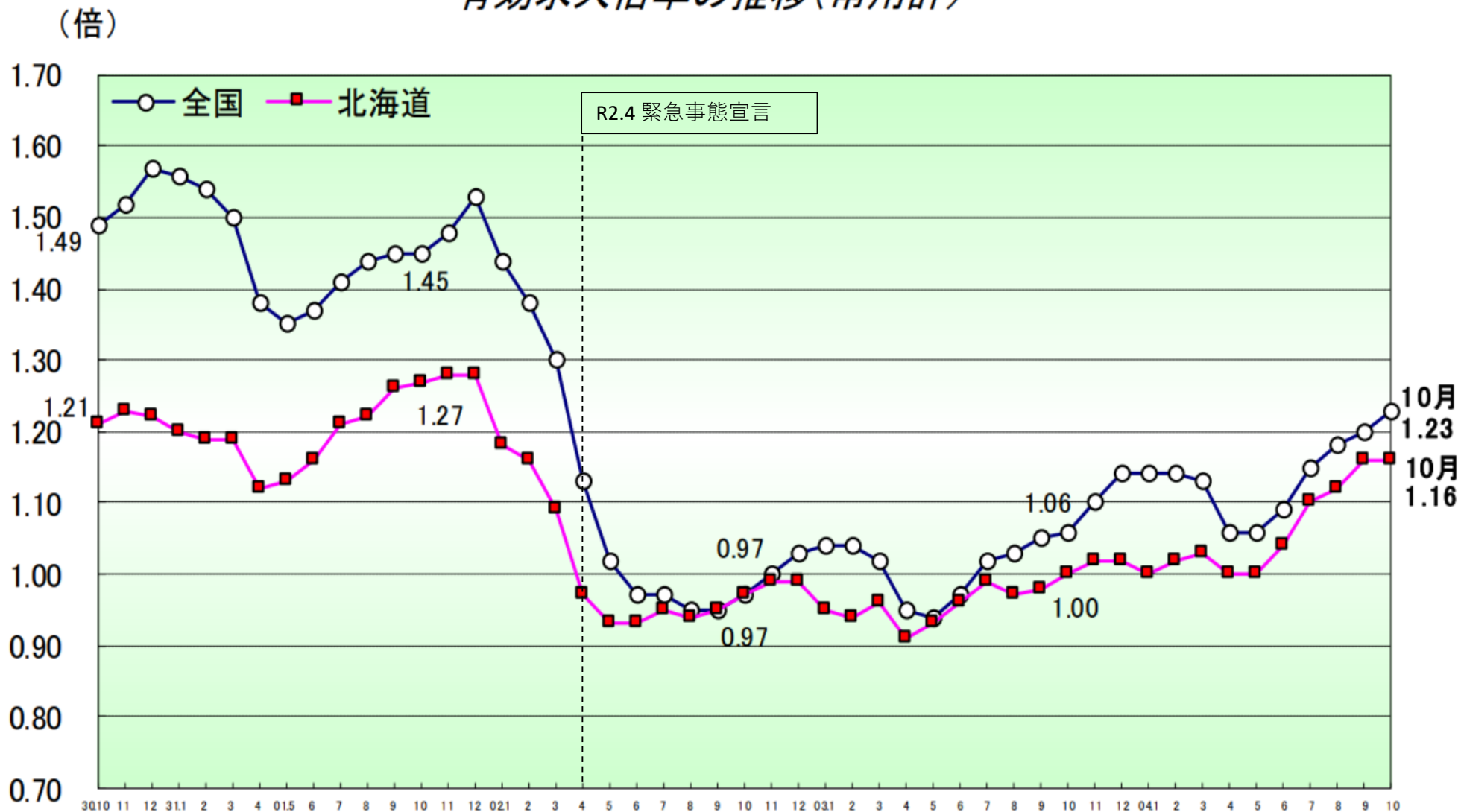


【価格転嫁の推移】



現下の経済状況

有効求人倍率の推移(常用計)



現下の経済状況

(人材確保に係る事業者等の声)

業種等	事業者等の声
宿泊業	<ul style="list-style-type: none">○ 調理師不足のため、レストラン予約を7~8割に抑え、ランチ営業も中止。求人をかけているが、問合せすらない。○ 人手不足のため、部屋の稼働率を下げている。
食品製造業	<ul style="list-style-type: none">○ 人手不足で、仕事を断らなくてはならない状況。○ 従業員の確保が困難であり、将来的な人員不足を見込んで、一部工場を閉鎖した。○ 人手さえあれば業績は伸ばせるが、現状難しい。

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
農業者 ・ 農業関係 団体	<ul style="list-style-type: none">○ 生乳生産の抑制や、子牛の販売価格の下落が続き、生産環境は非常に厳しく、生産現場の経営努力だけでは対応できない。○ 酪農経営の維持に資する対策を講じて欲しい。○ 肥料価格の高騰が続く中、適正な施肥量の把握に向けた土壌診断を円滑に実施するための体制整備への支援を講じて欲しい。○ てん菜生産と製糖工場の維持に向けて、コロナ禍により需要が減少した道産てん菜糖の消費拡大に向けた対策を講じて欲しい。

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
漁業	<ul style="list-style-type: none">○ 原油価格が急激に上昇し、高止まりが続いていることにより、漁船燃料などの生産コストが増加し、漁業経営に大きな影響が及んでいる。○ 経営安定に向け、国の漁業経営セーフティネット構築事業における漁業者負担の軽減などが必要。

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
離島地域の事業者	<ul style="list-style-type: none">○ 長期化するコロナ禍の影響などにより水産物の売上が減少。一部回復傾向にあるものの、コロナ前の水準まで至っていない。○ 燃油価格の高騰に伴い、離島から本土への輸送費も上昇。売上の減少と相まって経営が圧迫されている。 <p>※道内離島町で構成する「北海道離島振興協議会」から、道に対する支援要望</p>

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
運輸業	<ul style="list-style-type: none">○ 交通事業者を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、交通需要の回復を図るためには、切れ目のない事業展開が必要。○ 引き続き、ぐるっと北海道・公共交通利用促進キャンペーンの事業継続を求める。 <ul style="list-style-type: none">○ 生活バス路線の利用者は回復基調にあるものの、コロナ禍前の水準には達しておらず、依然として厳しい状況にある。

現下の経済状況

(地域の事業者等の声)

業種等	事業者等の声
宿泊業	<ul style="list-style-type: none">○ 春からの旅行割引支援は非常にありがたく感謝。○ 10月から開始された「全国旅行支援」により、前四半期・前々四半期を上回る見込みであるが、北海道の感染状況悪化もあり足踏み状態。○ 本格的なインバウンド回復までは、国内の旅行割引支援を継続してほしい。○ 観光需要が回復する中、それを支える人材確保が課題。